

第2回福岡市地球温暖化対策実行計画協議会 議事録（要旨）

日時 平成28年2月2日（火）14時～16時

場所 アクロス福岡 608会議室

【議事及び主な意見】

1. 福岡市地球温暖化対策実行計画の骨子案について

（1）削減目標と将来推計について

- ①排出量の多い重点3部門のみでなく、産業部門についても排出量を推計すべき。
- ②国が示す2030年度の目標値である電気排出係数0.37の算定には省エネの取組みが含まれている。対策導入の中の省エネ対策とダブルカウントされているのではないか。
- ③各施策に記載されている成果指標の目標値と全体の削減目標の関連が分かりにくい。

（2）施策体系について

- ①フロン類の適切な管理に関する記載を施策に入れるべき。
- ②天神ビッグバンに際して省エネ性能に優れた取り組みを行う事業者には、インセンティブを与える仕組みが必要ではないか。
- ③「新車販売台数に占めるEV・PHVの割合」は、EV・PHVだけではなくFCV等も含める意味合いで、「新車販売台数に占める次世代自動車の割合」とするべきではないか。同じような視点で、全般的に対策と成果指標がリンクさせておく必要がある。
- ④福岡市は交通が発達しているため、公共交通機関の利用を促進するには、ネットワークの整備が重要である。例えば、大きなバスが入れない街区にコミュニティバスを導入する等、公共交通の利便性を高めてその利用を促進できないか。
- ⑤未利用エネルギーの活用に関しては、市役所部門だけでなく、将来像2の中にも記載すべき。
- ⑥分野横断的施策「温暖化対策を主体的に取り組むための人づくり・地域づくり」については、人づくり、地域づくりとともに、「ネットワークづくり」も必要。
- ⑦現在の対策は重点3部門のみであるため、中小規模の産業分も「みなし業務部門」として対策を考慮すべき。
- ⑧地球温暖化への対策が、まちの発展につながるというメッセージを示す必要がある。

2. その他

- ・本日の意見を踏まえ案を練り直した上で会長と協議を行い、必要であれば3月に第3回協議会を開催する。日程は、メール等で連絡する。